

北区中学生及び高校生のための

職業教育キャリアバン事業

将来あらゆる分野の職業にチャレンジできるよう、様々な分野で活躍している講師を中学校・高等学校に派遣し、職業を選択した経緯や方法、仕事への情熱ややりがい、苦心したことなどをお話しいただきます。お話を通して具体的で明確な職業イメージを持つことができるように実施し、職業選択の一つの参考となるような講座です。

<令和7年度事業実績（12校で実施）>

浮間中学校 6月6日（金） 小田嶋 良さん（パイロット）



<生徒の感想>（抜粋）

- ・やりたい職業になるための道は一つではない。最初からあきらめずに、まずはやってみる。パイロットになるためにたくさん努力したことを知った。
- ・「やったことがないことに、自信がないのはあたりまえ」という言葉が心に残っている。
- ・まだ自分のやりたことが見つかっていないけど、自分のやりたい職業を前向きに探していこうと思った。

桐ヶ丘中学校 6月13日（金） 松塚 直子さん（消防士）



<生徒の感想>（抜粋）

- ・火災だけでなく、地震や台風などの自然災害への対応を含め、日々、命を救うために頑張っていることを知り、私もだれかの役に立つようなことをしたいと思った。
- ・昔は60人だった女性消防士も今は1000人以上になったことが驚いた。
- ・好きなことに目を向けること、チャレンジしていくことを忘れずに生活していこうと思う。

都立桐ヶ丘高等学校 6月20日（金） 篠原 奈緒子さん（照明設計）



<生徒の感想>（抜粋）

- ・照明設計は大変な仕事なのに、育児をしながら携わっていてすごいと思った。
- ・東京スカイツリーの照明の話が心に残った。自然光や反射光などを挑戦し、何度も試行錯誤してきれいに見えるように工夫する話。
- ・学校での勉強の活かし方、将来の仕事への目指し方には一つではないことを知った。自分が進路を考えるときには思い出したい。

私立武蔵野中学校 7月11日（金） 関田 明子さん（消防士）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 男性の仕事、女性の仕事ではなく、自分のやりたいと思った仕事に向き合い、頑張れる仕事を探すことが大切だと思った。
- 18,500 人の消防士のうち、女性消防士は 1300 人、全体の約 7% の割合は少ないと驚いた。
- よく見るポンプ隊、救助隊の他にも災害の原因を調査する人など幅広い職種があることを知った。チームプレイの仕事だと思った。

稲付中学校 10月3日（金） 鈴木 啓美さん（フェアトレード）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 世界中で服が年間約 45 億枚生産され、10 億枚以上が新品のまま捨てられていると知り、驚いた。
- 私たちのように裕福に暮らせる人より、貧困の人のほうがはるかに多い。誰もが幸せに過ごせる社会にするにはどうすればいいのか考えたい。
- やりたいことを仕事にする生活に興味を持った。能動的に動く生き方と夢を持つ考え方に憧れた。

堀船中学校 10月21日（火） 福釜 知佳さん（水産庁）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 水産庁は大きなお金を動かしたり、魚を捕るルールを決めたり、責任感がある仕事だと思った。魚を食べるまでにたくさんの人が関わっている。
- 水産庁の仕事はその場で感謝されるのではなく、裏で私たちの生活を支えてくれている。今までは興味がない仕事だったが、少し調べてみようと思った。
- 水産物が減ってきている。環境問題や漁業で海外と仕事をするのはカッコいいと思った。

十条富士見中学校 10月31日（金） 五十嵐 久枝 さん（インテリアデザイナー）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- デザインは使いやすさ、環境、人と人を繋げるなど考えていてすごいなと思った。私は美容師に将来なりたいが、今回のお話から自由なアイデアなど進路を決めるためにも考えていきたい。
- 自分のアイデアで、人が明るく過ごしやすい生活ができるようになることがわかった。
- 「仕事は大変ですか？」という質問に、「大変です」と答えられ、どんな仕事も大変だと思った。

明桜中学校 11月21日（金） 玉井 なつ実 さん（消防士）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 厳しいけれどやりがいのある仕事だと思った。交代制で働くことも良いことがあると思った。皆で食べるご飯がおいしそう。
- 「仕事の仲間は家族のような存在」という言葉が心に残った。将来仕事をするときに、玉井さんのように他の人と協力して仕事をしたいと思った。
- 危険を背負う仕事で、女性として働くのはかっこいいと思った。消防士の仕事の忙しさが伝わってきた。

飛鳥中学校 12月11日（木） 伊藤 華英 さん（アスリート）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 僕はサッカーをやっていて、伸び悩んでいるので、目標の立て方のコツにならって頑張っていきたい。
- 今日の話で、「目標を決めたらあきらめない」「毎日5分でもやる」という言葉は、僕がやっている野球にも当てはまると思った。
- 自分のことを理解し、悪いところを直すということが心に残った。

都の北学園 12月12日（金） 君島 由紀子さん（陸上運輸）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 色々な経験を積んできて、やりたい仕事をつくるのはすごい。講師のかたのようにポジティブに考えたい。
- 今はやりたい仕事ははっきりしなくても、好きなことからそれに関わる仕事につなげ、自分に合った仕事につきたい。
- 鉄道の仕事は1分でも遅れてはいけないという厳しい仕事だと思った。駅員さんは大変だと思った。
- 鉄道会社でも色々な仕事があることを知った。

滝野川紅葉中学校 1月27日（火） 柳田 寧子さん（新聞記者）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 失敗しても何回も挑戦して、あきらめない心が大切だと思った。
- 仕事をするうえで、辛いことも嬉しいこともあるからやりがいがあり、続けられるのだと思う。
- 仕事をしていても、大人になっても勉強は必要ということを知った。
- 普段あまり関わらない職業の人の話が聞けて良かった。
- 自分の好きなものを活かして職業を決めたい。
- 有名人に取材できるのは努力しているからだと思った。

赤羽岩淵中学校 3月6日（金） 大塚 紀子さん（鷹匠）



＜生徒の感想＞（抜粋）

- 少しでも興味があることに何でも挑戦してみる。
- 今、やりたいことが無くても、大人になって見つかるかも知れないから、今は苦手なことがなくなるように勉強したいと思う。
- 「鷹匠」という仕事を初めて知って、まだまだ知らない職業があると思った。職業を選ぶときは、たくさん調べようと思う。
- できないことでも、あきらめずにやれば、いつか突然できるようになる、という言葉が印象に残った。